

御前崎遠州灘県立自然公園・国指定史跡

横地城は室町期の遠江國有力国人横地氏の本城として築かれた山城です。

尾根上の山頂を中心に「東の城」「中の城」「西の城」を構え、

土塁、堀切、曲輪等を配し、築造当時の面影を残しています。

全国有数な城跡として知られています。

東端に最も標高が高い「金寿山」があります、

山城の中心である「東の城」が築かれています。

ここから南には遠州灘、東に牧之原台地、

その後方から北にかけては赤石山脈、

南アルプスを望むことができます。

東の城から西へ向かえば中の城、千畳敷、西の城、

一騎駆け、金玉落としの谷、横地一族の墓などがあり、

いたるところにその名残をとどめており、

時を越えて、中世の世界を垣間見ることができます。

横地氏は藤原南家の系譜を引く藤原姓の一族で、

平安時代から戦国時代初め文明八年（一四七六年）に

今川義忠によって滅ぼされるまでのあいだ栄えました。

旧横地村が本貫地であるとともに、

全國の横地姓の発祥の地でもあります。

県立自然公園に指定された付近一帯には桜、

笹ゆりをはじめとした野生植物、野鳥などの

自然も豊富に残っています。

The ruins of Yokoji Castle



古城に春を告げる満開の桜、約500本の桜が咲き乱れます。

伝・横地一族の墓



西の城跡に建つ横地神社鳥居



横地城碑



しげがはなとりであと

獅子ヶ鼻砦跡

The ruins of Shishigahana Fort site

獅子ヶ鼻砦は、徳川家康が高天神城を包囲攻撃するために、天正8年(1580年)6月に築いたもので、大須賀康高が守っていたと言われています。笛ヶ峰御殿(小笠山砦)・中村砦・能ヶ坂砦・火ヶ峰砦・三井砦等と共に築いた六砦の一つです。

蓮池公園からの階段を登れば、展望台に出ます。砦跡の展望は素晴らしい、とくに東方に富士山を望む景色は絶景です。



獅子ヶ鼻砦跡展望台より